

かわぐち合唱団ニュース 第26号 2017,3,29

代表 小川喜也

ありがとう！ 矢ヶ部先生、小島先生！！2016年度の最後の練習日

この1年間、時には厚く時には厳しく指導して下さい感謝です。練習時にはユーモアで笑いが弾け暖かい練習を積み重ねることができました。10周年目指して励まし合いながらがんばります。新しい年度もよろしくお願いします。(感謝を込めて書いたはがきと手作りのカード入れを贈ります。)

3月22日の練習から



発声練習：・母音で音符がピッタリ。

- ・一番最初の音程を記憶にとどめ次に進むこと。

少年時代：・ p22 (だれのーあこがれに) の「だれの」のリズムに注意。

- ・ p23B の入り口、男性は音を明確に。Huh-は、「ふうー」で(昭和歌謡っぽく)
- ・ p24 (あとさきー) は、リズムに注意して2拍分伸ばし、全員一緒に切る。
- ・ p24 (夏祭りよいかがりー) は、fで。
- ・ p25 (むねの高鳴りにあわせてー) は、「あ」を皆で合わせる気持ちで。
- ・ p26 (Hmー) は、テヌートなのでもう少し長めに。
- ・ p27 (パーンパパパーン) は歯切れよく、トランペット風に。
- ・音楽は止まることができない。常にフル回転し、新鮮なものを送る努力を。
- ・(え)の発音に注意。常に前身ごろで歌うこと。
- ・2小節単位で歌うこと。
- ・ p26 (なつもよう) の後、4分休符でオフ。そろえること。そして、コーダの1拍目にカチッと入る。最後は柔らかく終わる。



旅のあとに：・ゆっくりと表情豊かに歌う。(表現 試される曲！勝負の曲です！)

- ・ p32(つかーれきって) p p で sotto voice(柔らかい声で)
- ・ p32(わびしいはたごに)は、mp でクレッシェンドをかけていく。「ご」は鼻濁音で。
(足を投げ出す)はfでクレッシェンド、デクレッシェンド。(アアー)はf。
- ・(道は)はp pで、(立ち込める)でクレッシェンドをかけていく。(やみーに消されー)
fでデクレッシェンド。
- ・ p33 (地図をなくしたー) m f で espr.。
- ・ p33 (たびのおわりー)はクレッシェンド、デクレッシェンド。最後は次の位置で切る。
- ・ p35 (ばらいろのー)からは、だんだん激しさを込めて歌いあげる。
- ・同じセクションが3回出てくる。歌詞と歌詞を入れるタイミングがちがうだけ。
- ・この曲は(何となく歌う)のではなく、「表情豊かに歌いたい」 独唱ではなく合唱で実現しよう！！

連絡： 4月8日、神社演奏。9時集合。(箱根八里、待ちぼうけ、浜辺のうた)総会開催。